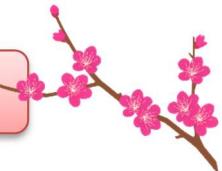


山口県生協連

ニュース vol.249

発行: 山口県生活協同組合連合会
〒753-0083 山口市後河原 210
TEL: 083-923-5614 FAX: 083-928-5416
E-mail: yken.ccu@smile.ocn.ne.jp
<http://yamaguchi-kenren-coop.jp/>

会長挨拶



人と人のつながり、信頼の絆を大切に！

山口県生活協同組合連合会
会長理事 岡崎 悟



昨年は、関係各位の皆様より
多大なるご支援とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げま
す。

国際社会に目を向けてみると、
ロシアによるウクライナ侵攻は4年近くが経過し、いまだ終
結の兆しが見えません。多くの命と暮らしが脅かされる中、
私たちは改めて平和の尊さを胸に刻む必要があります。

そうした中、一昨年には被団協（日本原水爆被害者
団体協議会）がノーベル平和賞を受賞し、平和を願う私
たち一人ひとりにとって大きな希望となりました。さらに、昨年
2025年は「国際協同組合年」として、世界中で協同の価
値が見直され、地域社会における連帯と共助の力が改めて
注目されました。私たち生協もその一翼を担う存在として、
地域に根ざした活動に取り組んでまいりました。

国内の状況に目を移しますと、物価上昇が続き、私たち
の暮らしに大きな影響を及ぼしています。こうした時代だから
こそ、「平和とより良い暮らし、地域づくり」という生協の理念を
改めて胸に刻み、人ととのつながりや信頼の絆を大切にし
ながら、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指
し、引き続き取り組んでまいります。

本年も、山口県生協連ならびに各会員生協への変わら
ぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

理事会研修



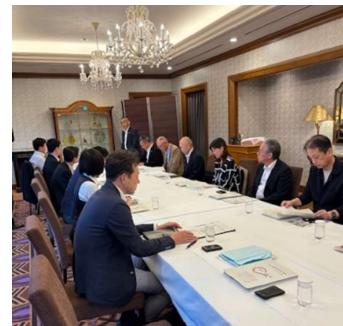
長野県協同組合フェスティバルを視察

2025年の「国際協同組合年」にあたり、地域における
協同組合間連携の先進的な取り組みを学ぶことを目的として、
長野県生協連が参加されている「協同組合フェスティバル」を視察しました。視察には国際協同組合年山口県実
行委員会を構成している団体にも参加を呼びかけ山口県農業協同組合より3名の参加がありました。

視察日程：2025年10月4日（土）、5日（日）

参加人数：10名

初日は、長野県生活協同組合連合会の皆様に温かく
お迎えいただき、長野県生協連の活動や協同組合間連携
の取り組みをご説明いただくとともに、懇親の場を設けていた



だきました。5日の「長野
協同組合フェスティバル」
当日は、「善光寺表参道
秋祭り」も開催されてお
り、数年前から同時開催
による来場者拡大をされ
ていました。

フェスティバルは、
地域の生協、農
協、ワーカーズコー
プ、関連企業や行
政など約40の団
体がブースを出展。
活動紹介や健康
チェック、牛の乳し



ぱり体験、りんごジュースの搾りかすを活用したコースターづくり、県産のりんごやブドウなどの特産品の展示・販売など、多彩な企画が

行われ、会場は多くの来場者で賑わっていました。

特に参考になったのは、善光寺表参道秋祭りと同時に同じエリアで開催することで、祭りに来られた幅広い世代の方々に協同組合の活動を知つてもらう貴重な機会となっていた点です。



今回の視察を通じて、協同組合が地域の多様な主体と連携しながら、地域課題の解決に取り組む姿が大変参考になりました。

山口県においても、今回参加された山口県農業協同組合など他の協同組合との連携をさらに深め、山口県でのより良い暮らしづくりに取り組んでいきたいと思いました。

最後に、視察に際してご丁寧にご対応いただいた長野県生活協同組合連合会の皆様に、心より御礼申し上げます。

生協連第20回役職員親睦ボウリング大会



2025年10月26日（日曜日）13:30～15:30
「ボウリング王国スポーツ小郡」にて、山口県生協連主催
第20回役職員親睦ボウリング大会を開催しました。



このボウリング大会は会員生協間の交流と親睦を目的に開催しています。

会員生協のうち10生協の役職員と家族、生協連事務局の48名が参加しました。



主な表彰は以下の通りです。

団体の部

優勝	共済生協(D)（山口県共済生協）
準優勝	大学生協（B）
3位	生協連

個人の部

総合優勝（男性）	竹村 勇輝さん (山口県共済生協)
総合優勝（女性）	村田 直子さん（健文会）



2025年度第1回生協連役職員研修会を開催しました

2025年11月6日（木）、生活協同組合コープやまぐち第3会議室にて、2025年度第1回役職員研修会を開催しました。「2025国際協同組合年山口県実行委員会」との連携により開催し、実行委員会に参加する各組合・団体の皆さんにも参加いただきました。

参加団体：10団体、県連の5生協の役職員。

参加人数（Web参加も含む）：86人

時 間：13:00～14:30

今回の研修会では日本農業新聞 論説委員長の鈴木祐子氏を講師にお迎えし、

『改正食料・農業・農村基本法の「つっこみどころ』

～どう縮める食と農の距離～』

というテーマで講演いただきました。

初めに岡崎会長より挨拶がありました。今年は国際協同組合年ということもあり、多くの方にご参加いただき共に集っての研修会にふさわしい講師をお迎えできました。SDGsの実現には協同組合の力は大切であり、より良い社会づくりに貢献しています。今年度発足した山口県実行委員会は今後も継続して活動をしていけるようにしたいと考えています。本日の講演会もその一つです、有意義な時間としていただきたい、と述べました。

鈴木氏の講演では、以下のような視点からお話しいただきました。

『改正食料・農業・農村基本法の課題』

～改正された法律の「つっこみどころ」を挙げながら、国の施策に潜む問題点について考察されました。

『高校生の絵から考える食と農の距離』

～高校生に鶏やパイナップルの絵を描かせたところ、正しく描けない事例を紹介し、食育や農業体験の重要性を説かれました。

『適正な価格転嫁に向けた『言葉』と考え方』



～適正な価格形成には消費者の食育と、生産者と消費者がお互いを思いやることが不可欠とし、「対等互恵」という言葉を紹介されました。

参加者の感想

・「対等互恵」という言葉、とても印象的でした。日本の農業を考えいくうえで、これからはこの考え方を広く広めていかないといけないのだなと感じました。現在、消費者は米の値段に一喜一憂していますが、農家にも消費者にも双方に良い状況が作れるといいなと思いました。生協組合員としては“ときどきエシカル”な仲間をワンランクアップさせる活動に取り組みたいと思いました。

・日本の食について改めて考える事ができた。生協で働く者として、生産者、消費者、それぞれの立場で考えながら働きかけを行っていきたい。

・「対等互恵」という新しい言葉を知る事ができました。「食」と「農」を守り続けていくためにも、消費者と生産者がお互いが理解しあえる関係づくりを協同組合職員として取り組まなければならないことを自覚できました。



第40回中四国生協行政合同会議

～高知県～

日 時：2025年9月4日（木）13:30～

場 所：ザ・クラウンパレス新阪急

開催テーマ：

「地域の暮らしを支える連帯・連携・つながりの輪」

ご来賓、中四国の生協・行政など88名が参加。高知市・桑名市長と安田町の黒岩町長による、生協と行政との連携等に関する基調講演がおこなわれました。

その後の各分散会では、生協・行政・団体が地域課題への連携を議論し、終了後は高知県産試食交流会が実施されました。

山口県からは、生協連 7 名、行政 1 名 計 8 名参加でした。



県生協連 生協講座～周南公立大学で生協講義をおこないました～

県生協連は、2019 年に創立 70 周年の記念事業として、初めて山口大学で生協講座を開きました。コロナ禍などで開催ができていませんでしたが、2025 年 1 月に山口県立大学で開催させていただき、今回は周南公立大学にて生協講座を開催させていただきました。

今後の山口県における生協運動の更なる発展のために、若い世代に生協を知つもらうことを目標に掲げています。



日 時：2025 年 10 月 15 日 13:00～14:30
講 師：山口県生協連 専務理事 荒瀬 泰
講義テーマ：「協同・共助の組織である『生活協同組合』の歴史と現在の事業・活動について」
受講者：約 35 名

初めに、生協がどんな事業や活動をしているのかを生活協同組合コープやまぐちの事業活動を映像で紹介しながら説明しました。災害時に生協が行った支援、宅配事業、店舗

事業、SDGs の行動目標と活動、誰からも頼りにされる生協づくりを“一緒に”を目指していることを紹介しました。

映像紹介の後、協同組合と生活協同組合について、ICA（国際協同組合同盟）の定義や株式会社との違い、協同組合の種類について話しました。また、生活協同組合の歴史と社会的背景について、産業革命～ロッヂデール公正開拓者組合の誕生～ヨーロッパから世界へのひろがりについて説明。日本での生協発展過程と社会的背景を、消費者問題・社会問題と生協の動きを比較しながら説明



しました。近年は人口減少と高齢化が進み福祉のニーズが高まってきた事など生協は時代のニーズに合わせて発展してきたことを話しました。

福祉メーデーにて基調報告

2025 年 11 月 6 日（木）（一社）山口県労働者福祉協議会は山口市の労福協会館にて第 47 回福祉メーデー山口県集会を開催されました。山口県生協連からの基調報告は、「国際協同組合年」について荒瀬専務理事がお知らせしました。



今後の予定

- 2 月 13 日 機関運営担当役職員、監事・監事スタッフ研修会
- 3 月 5 日 生協連と報道懇談会との懇談会
- 3 月 12 日 第 2 回生協連役員研修会
- 第 4 回県生協連理事会

